

事務連絡

平成 29 年 8 月 16 日

各〔都道府県〕
〔保健所設置市〕
〔特別区〕

衛生主管部（局） 御中

健康局結核感染症課

ヨーロッパ地域における麻しん患者報告数の増加に伴う海外渡航者への注意喚起について
(協力依頼)

近年、ヨーロッパ地域において麻しん報告数の増加が確認されていますが、今般、特にイタリアとルーマニアにおける報告数の増加が顕著であることが、ECDC（欧州疾病対策センター）から発表されました（※1）。

※1 ECDC 平成 29 年第 32 週感染症状況報告より

○イタリアの状況

・本年 8 月 4 日の時点で 4,087 名の麻しん患者が報告されている（昨年は年間 861 名）。

○ルーマニアの状況

・本年 8 月 4 日の時点で 6,486 名の麻しん患者が報告されている（昨年は年間 1,969 名）。

これらの状況を踏まえ、海外渡航者への注意喚起のため、別添のとおりリーフレットを作成いたしました。

貴自治体におかれましては、海外渡航者に対して、以下の 2 点について広く周知いただきますようお願いいたします。

1. 麻しんにかかったことが明らかでない場合、渡航前には、麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認し（※2）、2 回接種していない場合は予防接種を検討すること
※2 麻しんの既往歴や予防接種歴が不明の場合は抗体検査を検討すること
2. 帰国後には、2 週間程度は麻しん発症の可能性も考慮して健康状態に注意すること

別添 1：麻しんリーフレット（出国前の注意事項）

別添 2：麻しんリーフレット（帰国後の注意事項）

参考

・厚生労働省 夏休みにおける海外での感染症予防について

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

・渡航者向けの麻しんの予防啓発活動に「マジンガー Z」を起用

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000172672.html>